

美術科学習指導案

東城町立八幡中学校

指導者 名越 裕章

1. 対象学年 第1学年
2. 題材名 イメージの広がり（デザインや工芸などの表現）
3. 題材設定の理由

教材観

色や形は、筆を使って描き出すものだけとは限らない。デザインの世界では、常に新しい感覚の色や形が求められ、幅広い表現方法が生み出されている。例えばインクをこぼしただけでも形をつくることはできるし、それを貼り合わせたコラージュやスタンプングなども筆を使わない方法である。こうして偶然に生まれた色や形・模様は、今までにない新鮮さをもっている。そしてその形や色・模様から自由に発想することには、美術本来の楽しさがある。この教材の中で、美術に対して苦手意識を持っている子どもにも、技法の中から何らかの手がかりやヒントを見つけ自由に発想させ表現させていくことで、美術の楽しさを味わわせたい。

生徒観

入学当初は緊張していたものの、その緊張も徐々に解けてきている。全体的に1年生の子どもたちは、明るく優しいところもあり、和やかな場面も見せるが、自分の思いを十分出せるところまでには至っていないという課題がある。

美術の授業では、細かい仕事も丁寧にこなし、作業の中でいくらかは教え合う場面もある。また、美術に対して、興味を持っている子どもが半数をわるという状況である。この状況は、これからの成長の中で、ますます増えてくる可能性が多分にある。子ども達がもっと心を開き、自分の思いをのびのびと表現できるように、これからも取り組んでいきたい。

指導観

本来、子どもたちの発想はユニークであり新鮮である。この発想と新鮮さは、いかなる芸術家をもってしても及ばないほどの素晴らしさを秘めている。けれども、子どもたちの少子化や塾通いなどによる多忙化により、豊かな感性を育む体験の場はだんだんと少なくなり、感性も育ちにくくなっている。

今回の教材では、自由な発想で偶然性の中に生まれてくる美の世界を発見させ、描くことに苦手意識を持っている子どもにも興味や関心を広げさせながら、意欲的に取り組ませていきたい。

4. 指導の目標

- (1) マーブリングなどの技法を理解しそれによってできる形に興味を持ち、それらを実際に試そうとすることができる。(関心・意欲・態度)
- (2) モダンテクニックで偶然にできた色や形から自分なりに発想することができる。(発想や構想の能力)
- (3) イメージをもとにして、色や形を工夫し、画面構成をすることができる。(創造的な技能)

(4) 仲間の作品から作者の意図や表現の工夫を感じ取り，見方を深めることができる。

(鑑賞の能力)

5 . 評価規準

1) 美術への関心・意欲・態度

・デザインのよさや美しさ，造形要素，表現方法などに関心を持ち，意欲的に美術の基礎的技術を身につけようとし，それを生かして楽しく表現活動に取り組み，その喜びを味わい美術を愛好していこうとする。

2) 発想や構想の能力

・感性や想像力を働かせ，見る者の気持ちなどを考え，豊かに発想し構想する能力を身につけ，形や色彩，材料などの構成を工夫し，自分らしく心豊かな表現の構想をする。

3) 創造的な技能

・デザインがもたらす性質や感情を理解し，つくり方や意図に応じた材料や用具の生かし方などの基礎的技術を身につけ，感性や想像力，造形感覚などを働かせ，創意工夫し，美しく表現する。

4) 鑑賞の能力

・感性や想像力を働かせ，作者の心情や意図と表現の工夫，多様な表現のよさや美しさなどを感じ取り味わい，美術作品などの見方を広げ，生活における美術の働きについて理解する。

6 . 指導計画 (全 3 時間)

(1) 参考作品から材料や制作手順について考える 1 時間 (本時)

(2) 自分のイメージの世界をモダンテクニクの技法で表現する 2 時間

7 . 本時の目標

(1) モダンテクニクの技法に興味を持ち，試そうとしている。 (関心・意欲・態度)

(2) 制作手順や作品のイメージを，自分なりに発想し，考察することができる。

(発想や構想の能力)

(3) モダンテクニクの基本的技能を身につけ，美的に作品に表すことができる。

(創造的な技能)

8 . 本時の基礎・基本を定着させるための重点項目

(1) モダンテクニクの制作手順について，自分なりに発想することができる。

(2) 自分の思いを仲間に伝えたり，仲間の考えを尊重し理解することができる。

9 . 準備物

・参考作品 ・学習ノート ・色鉛筆などの描画材料 ・画用紙などの用紙 等

10. 学習過程

		学 習 内 容 ・ 学 習 活 動	学 習 の 支 援 お よ び 評 価
導 入	3	筆を使わないで、色や形をつくる方法について考える。	・参考作品をもとに考えさせる。
展 開	2	1. 学習課題を提示する。 【課題把握】	
	5	2. 材料や制作方法について考える。 参考作品から、材料や制作方法を予測する。	・モダンテクニックを使った参考作品を見ながら考えさせる。 ・具体的に制作手順を予想しまとめさせる興味を持って考えようとしているか。 (関心・意欲・態度) (机間指導・観察)
	15	3. 予測にもとづいて実験しまとめる。 予測にもとづいて各自で実験し確かめる。 【自己解決】	・できるだけ自分の力で実験を進めさせる ・つまづいている子どもに助言する。 材料や制作手順などを、自由に発想しているか。 (発想や構想の能力) (机間指導・観察)
	5	各自で実験の結果をまとめ、考察する。	・予測どおりできなかつた場合は、どこが間違っていたかを考察させる。 モダンテクニックの基本的技能を身につけ、作品に表すことができる。 (創造的な技能) (机間指導・観察)
ま と め	5	3. 実験の結果と考察を交流する。 班内で交流し、再考察する。 【比較・検討】	・制作手順の確認や、他の制作方法があれば考えさせる。 仲間と自分の考えの違いや、それぞれの考えのよさに気づこうとしているか。 (関心・意欲・態度) (机間指導・観察)
	5	まとめを全体で交流し、プリントで材料や制作手順について確認する。	
ま と め	10	4. 本時の学習を振り返る。【振り返り】 各自で学習を振り返る。 班で学習を振り返る。	・本時の学習の頑張りをお互いに評価し次時への意欲づけをする。

参考作品から、材料や制作方法を考えよう

個 班 評 価 ・ 支 援